|  |
| --- |
| 革新的サービス |

（様式１０）

**事　業　報　告　書**

**Ⅰ　実施事業者**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名 |  |
| 代表者役職名及び氏名 | ［役職名］　　　　　　　　　　　　　　　　［氏名］ |
| 住所（本社所在地） | （〒　　　－　　　　） |

**Ⅱ 事業内容**　（枠に収まらない場合は、適宜広げてください。複数ページになっても結構です。）

|  |
| --- |
| １．事業計画名　※申請時の名称を記載 |
| ２．事業実施期間  　開　始：平成　　年　　月　　日  　完　了：平成　　年　　月　　日 |
| ３．補助事業の主たる実施場所　※補助事業を行った主たる実施場所の住所・事業所名を記載してください。  （〒　　　－　　　　）  住　　所：  事業所名： |
| ４．実施した事業の概要とその成果　※１００字程度。詳細は７.(１)で記載してください。 |
| ５．対象類型　※該当する項目に☑を付してください。複数選択可  中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドラインとの関連性  〇付加価値の向上  □ 新規顧客層への展開　　　□ 圏の拡大  □ 独自性・独創性の発揮　　□ ブランド力の強化　　□ 顧客満足度の向上  □ 価値や品質の見える化　　□ 機能分化・連携　　　□ ＩＴ利活用〈Ｉ〉  〇効率の向上  □ サービス提供プロセスの改善　　□ＩＴ利活用〈II〉 |
| ６．事業類型   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 企業間データ活用型 | 一般型 | 小規模型 | | ①事業類型 | □ | □ | □設備投資のみ  □試作開発等 | | ②補助率1/2要件 |  | □先端設備導入計画認定  □経営革新計画承認 | □小規模企業者 | |
| ７．実施した補助事業の具体的内容とその成果  （１）実施した事業の内容及び得られた成果  ※技術的課題とその解決について取り組んだ内容を含めて具体的に記載してください。  （２）購入した機械装置等   |  |  | | --- | --- | | 機械装置等名 | 活　用　方　法 | |  |  | |
| ８．補助事業の成果の事業化に向けて想定している内容  ※補助事業の成果が寄与すると想定している具体的なユーザー、マーケット及び市場規模等について、現在の市場規模も踏まえた内容に改めて、記載してください。  ※補助事業の成果の価格的・性能的な優位性のほか、事業化見込みについて、目標となる時期・売上規模・量産化時の製品価格等について具体的に記載してください。また、事業化に至るまでの遂行方法や想定スケジュールを記載してください。  【補助事業終了後５年間の事業化スケジュール】   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 経過年数 | | | | | | １年目 | ２年目 | ３年目 | ４年目 | ５年目 | | （例）市場調査 |  |  |  |  |  | | （例）追加開発 |  |  |  |  |  | | （例）設備投資 |  |  |  |  |  | | （例）生産 |  |  |  |  |  | | （例）販売 |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  |  |   （注）「経過年数」とは本事業による補助事業終了後の経過年数を示します。 |
| ９．正社員化の取組みについて　※どちらかに☑を付してください。  □「キャリアアップ助成金」正社員化コース申請済  ▶申請年月日　平成　　年　　月　　日　※受理印のある申請書写しを添付してください。    □ 該当なし |